

香川県 令和元年度人生の最終段階の医療・ケアの普及啓発事業について（案）

1 医療従事者向け研修について

(1) 県医学会

日時：令和元年 10 月 6 日（日）（5 分程度）

内容：ACP に対する取組みや以下の今後の予定を周知

(2) 地域包括ケアシステム学会

日時：令和元年 11 月 3 日（日）9：45～11：00

座長：香川県医師会常任理事 大原 昌樹 氏

9：45～10：00 報告「地域包括ケアシステムと ACP の取り組みについて」

坂出市医師会理事 蔵谷 弘子 氏

10：00～11：00 特別講演「地域包括ケア推進とアドバンス・ケア・プランニング(ACP)」

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

在宅医療・地域医療連携推進部長 三浦 久幸 氏

(3) 患者の意向を尊重した意思決定のための研修会（仮）

日時：令和元年 11 月 10 日（日）（終日を予定）

場所：高松市内で調整中

講師：木澤 義之（神戸大学医学部附属病院 緩和支援診療科 特命教授）

（厚労省から神戸大学へ委託された下記 E-FIELD 事業において、全国 28 か所での研修を実施している講師）

対象：30～40 人程度

（郡市地区医師会及び県内医療機関に周知し、多職種の 3 人×10～12 チーム程度を募集）

内容：ACP の実践的研修（E-FIELD※1 を準用）

※1 E-FIELD：「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」に基づいた意思決定支援教育プログラム（Education For Implementing End-of-Life Discussion）の略。

備考：生涯教育制度の指定研修※2 として県医師会へ申請予定

※2 カリキュラムコード：80 在宅医療 or 81 終末期のケア

2 県民向け公開講座について

日時：令和 2 年 1 月 26 日（日）13：30～16：00

場所：社会福祉総合センター 1 階コミュニティホール（300 名程度）

対象：県民

主催：県、後援：各医療関係団体、マスコミ（四国新聞）等

内容

① 冒頭：「人生の最終段階」を意識してみるワークを実施

② 本題（講演）：新田 國夫 氏（日本臨床倫理学会理事長、全国在宅療養支援診療所連絡会会長、日本在宅ケアアライアンス議長）

③ 講評：冒頭のワークから本題のエッセンスを参加者に伝えるとともに、参加者からの質疑や感想を述べる時間を設ける。